

廃棄物資源循環学会 研究討論会 (弊社三輪社長も参画)

去る5月20日～21日 神奈川県川崎市《川崎市産業振興会館》にて学会の研究
討論会が開催されました。

今回の研究討論会では5つのテーマを掲げており、そのひとつ

『産業廃棄物処理業界におけるCO2削減への取り組み』

について、三輪社長を含む4名の方が発表されました。

☆産業廃棄物をとりまくCO2削減の全体概要論
東京大学大学院特任助教 北垣 亮馬 様

☆全国産業廃棄物連合会におけるCO2マイナスプロジェクト
(社)全国産業廃棄物連合会 加藤 宣行 様

☆廃棄物の収集運搬に係るCO2削減の取り組み事例
白井エコセンター(株) 滝口 千明 様

司会進行:北海道大学大学院 松藤 敏彦 様



三輪社長より
「廃棄物焼却炉の廃熱を活用した小型蒸気発電機による省エネ」
と題して、現在 江島・潮見の両工場に設置したゴミ焼却発電設備
の性能とその効果を発表致しました。

蒸気発生量が不安定な焼却廃熱蒸気でも、安定した発電を実現し
た両工場の設備に対して、来場者の方々から強い関心を受けました。



この日は朝からの雨にもかかわらず、7割を越す来場者を数え、産業廃棄物処理に対する関心の高さ
を感じました。